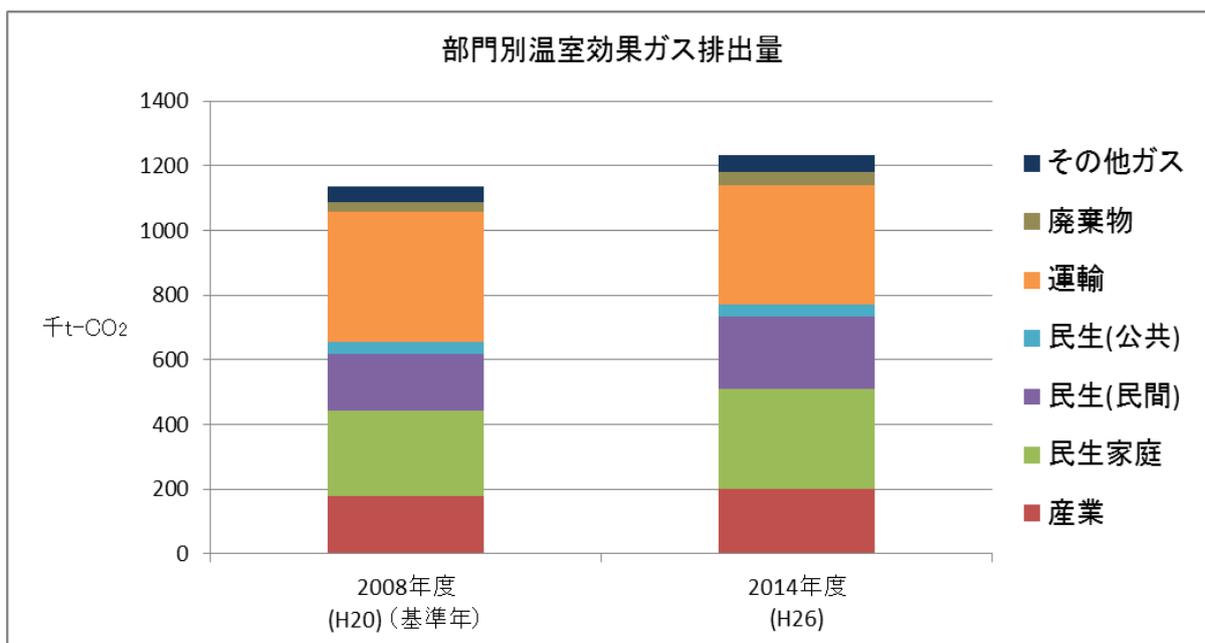


甲府市の温室効果ガス排出量【2014(平成 26) 年度】

(1) 総排出量と部門別排出量

○2014 年度(平成 26 年度)の温室効果ガスの排出量は、1,233 千 t-CO₂ でした。

基準年 2008 年度(平成 20 年度)に比べて、8.7%増加しています。



部門別温室効果ガス排出量

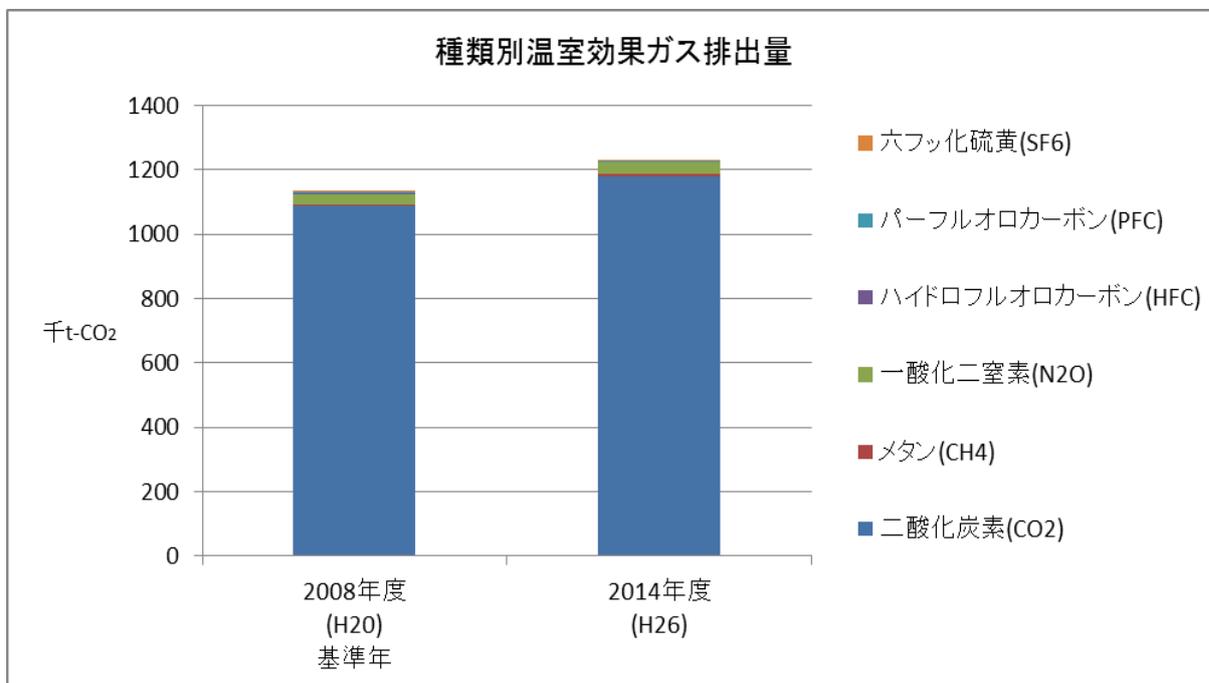
単位: 千t-CO₂

部門	2008年度 (H20) (基準年)	2014年度 (H26)	基準年比
産業	177	201	13.5%
民生家庭	266	308	15.5%
民生(民間)	175	223	27.5%
民生(公共)	37	37	2.2%
運輸	401	370	-7.8%
廃棄物	31	43	37.4%
その他ガス	48	52	8.5%
合計	1135	1233	8.7%

※四捨五入のため、合計値が合わないことがあります。

(2) 温室効果ガスの種類別排出量

2008年度(平成20年度)、2014年度(平成26年度)の温室効果ガス排出量の約96%を二酸化炭素が占めています。



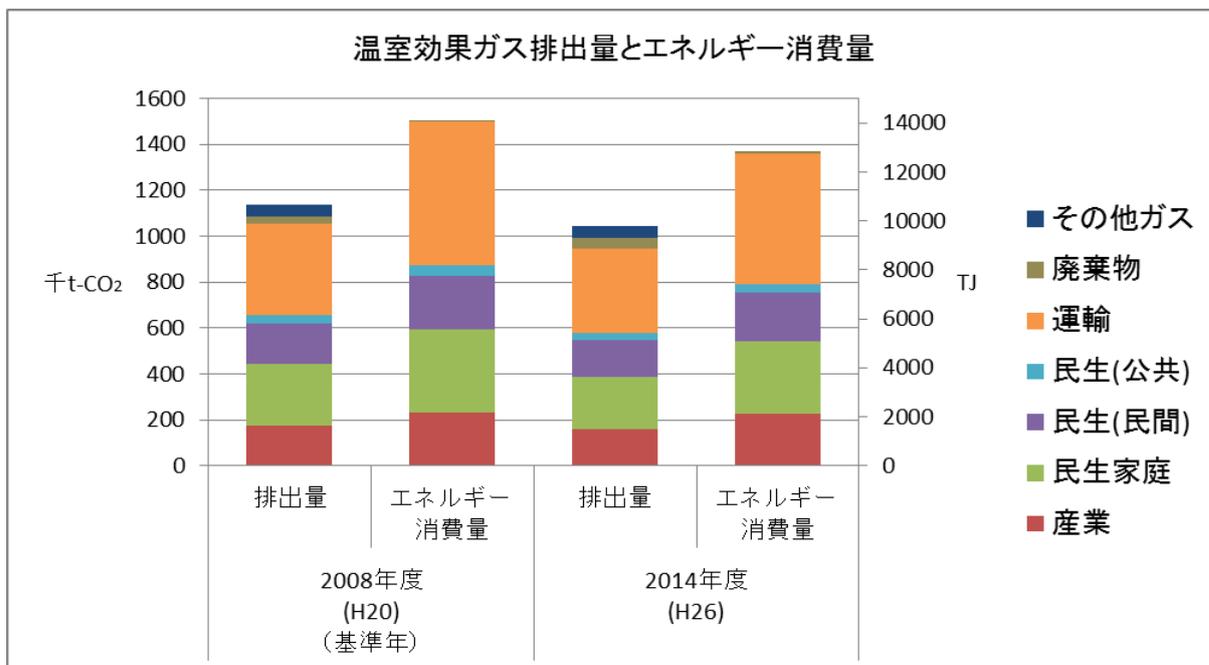
種類別温室効果ガス排出量

温室効果ガス	2008年度(H20) 基準年		2014年度(H26)		
	排出量	排出量比	排出量	排出量比	基準年比
二酸化炭素(CO2)	1087	95.8%	1181	95.8%	8.7%
メタン(CH4)	5	0.5%	6	0.5%	7.5%
一酸化二窒素(N2O)	33	2.9%	36	2.9%	8.5%
ハイドロフルオロカーボン(HFC)	3	0.2%	3	0.2%	8.0%
パーフルオロカーボン(PFC)	4	0.3%	4	0.3%	8.3%
六フッ化硫黄(SF6)	4	0.3%	4	0.3%	8.1%
合計	1135	100.0%	1233	100.0%	8.7%

※四捨五入のため、合計値が合わないことがあります。

(3) 総排出量（排出係数一定）とエネルギー消費量

排出係数の増減に左右されずに各年度の温室効果ガス総排出量の大小を比較するためには、排出係数を一定にする方法や、エネルギー消費量で比較する方法があります。排出係数を2008年の数値（0.324）に固定した場合、排出量の推移は下のようになります。



2014年度の排出量は基準年に比べて8.2%減少、エネルギー消費量は基準年に比べて8.9%減少となっています。

温室効果ガス排出量とエネルギー消費量

単位: 千t-CO₂(排出量)、TJ(エネルギー消費量)

部門	2008年度 (H20) (基準年)		2014年度 (H26)			
	排出量	エネルギー消費量	排出量		エネルギー消費量	
				基準年比		基準年比
産業	177	2,154	158	-10.6%	2,136	-0.8%
民生家庭	266	3,426	230	-13.8%	2,948	-13.9%
民生(民間)	175	2,178	160	-8.9%	1,984	-8.9%
民生(公共)	37	452	32	-13.2%	344	-23.9%
運輸	401	5,834	368	-8.1%	5,359	-8.1%
廃棄物	31	38	43	37.4%	53	37.4%
その他ガス	48	0	52	8.5%	0	
合計	1,135	14,083	1,042	-8.2%	12,824	-8.9%

※四捨五入のため、合計値が合わないことがあります。

(4) 排出係数と排出量

電力の使用に伴う二酸化炭素排出量の算定には、東京電力株式会社の CO2 排出原単位を用いています。排出係数については、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく京都メカニズムクレジット等を反映する前の実排出係数と、反映後の調整後排出係数が公表されています。平成 26 年度での実排出係数は 0.505kg-CO2/kWh、調整後排出係数は 0.496kg-CO2/kWh となっています。

実排出係数、調整後排出係数のそれぞれを用いて推定した温室効果ガス総排出量は、下の通りです。

